

広島県 商工会地域

中小企業景況調査報告書

第182回

令和7年10～12月期 実績

令和8年1～3月期 見通し

令和7年12月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体内の約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 231社</p> <p>製造業55 建設業44 小売業67 サービス業65</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	令和7年10～12月期実績、及び令和8年1～3月期見通し
5. 調査時点	令和7年12月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html
 - 中国経済産業局 (中国地域の経済動向)
<https://www.chugoku.meti.go.jp/toukei/keiki/keiki.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/75/1244079054510.html>

1. ポイント

※(独)中小企業基盤整備機構「第182回(2025年10~12月期)調査結果のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、2期連続して低下

全産業の「業況判断DI(前年同期比)」は、前期(2025年7-9月期)から0.7ポイント減(▲17.5)と2期連続して低下。産業別では、製造業で1.8ポイント増(▲17.8)、建設業で0.7ポイント増(▲8.7)と上昇、一方、小売業で2.2ポイント減(▲28.4)、サービス業で2.1ポイント減(▲13.2)、卸売業で0.5ポイント減(▲15.6)と低下。

・小売業の採算DIは、マイナス圏が続く

「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は、2021年4-6月期に卸売業がプラスに転じ、他の産業も追随し、2025年4-6月期以降に小売業もプラスとなったことで、すべての産業がプラス圏で推移している。一方、「採算DI(今期の水準)」を見ると、2022年4-6月期以降、すべての産業において上昇傾向であるが、小売業はマイナス圏内で推移している。

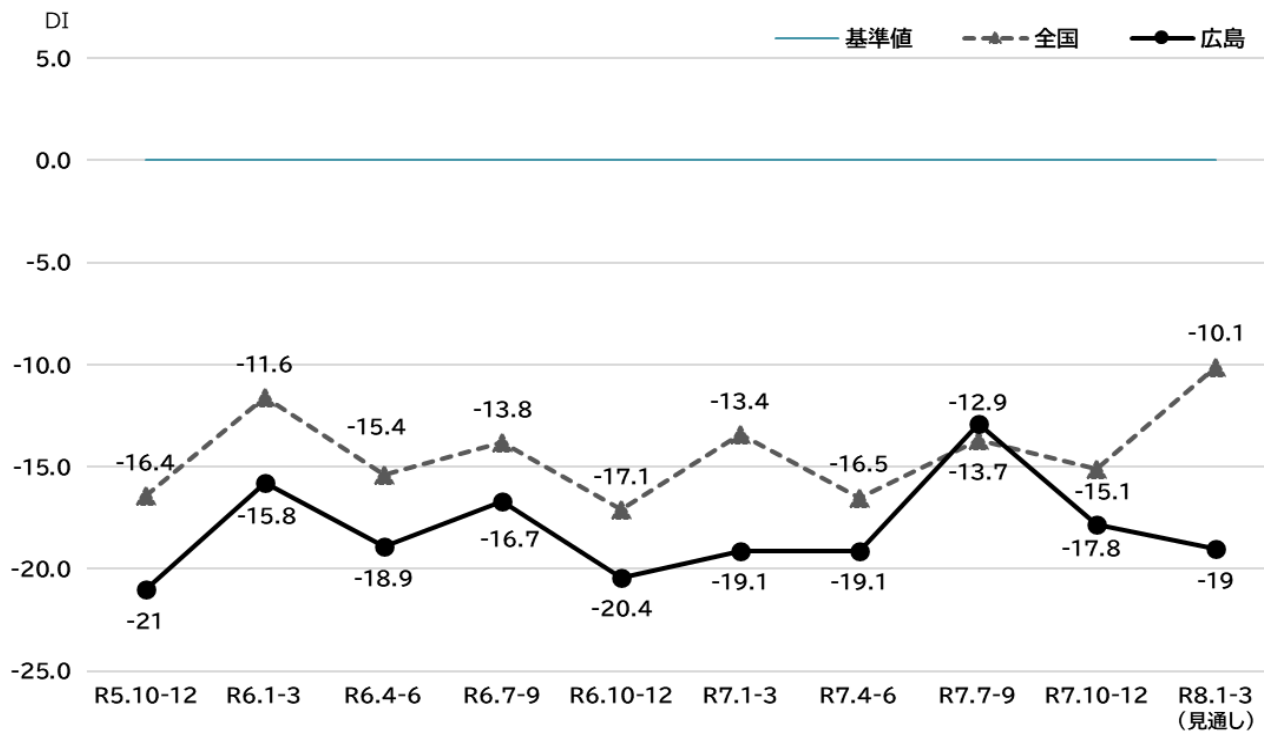
・東北、北海道は全国平均より下回る見通し

全産業の「業況判断DI(来期見通し)」の2026年1-3月期見通しは、全国全産業(▲16.3)と比べて東北が7.4ポイント、北海道が4.5ポイント下回っている。地域別×産業別に見ると、各地域のトップ産業は、東北が製造業、関東、四国、九州・沖縄が建設業、近畿が卸売業、北海道、中部、中国がサービス業となっている。全地域で、小売業が最も低い水準となっており、なかでも東北、北海道では▲30以下と低い。

産業全体の概況

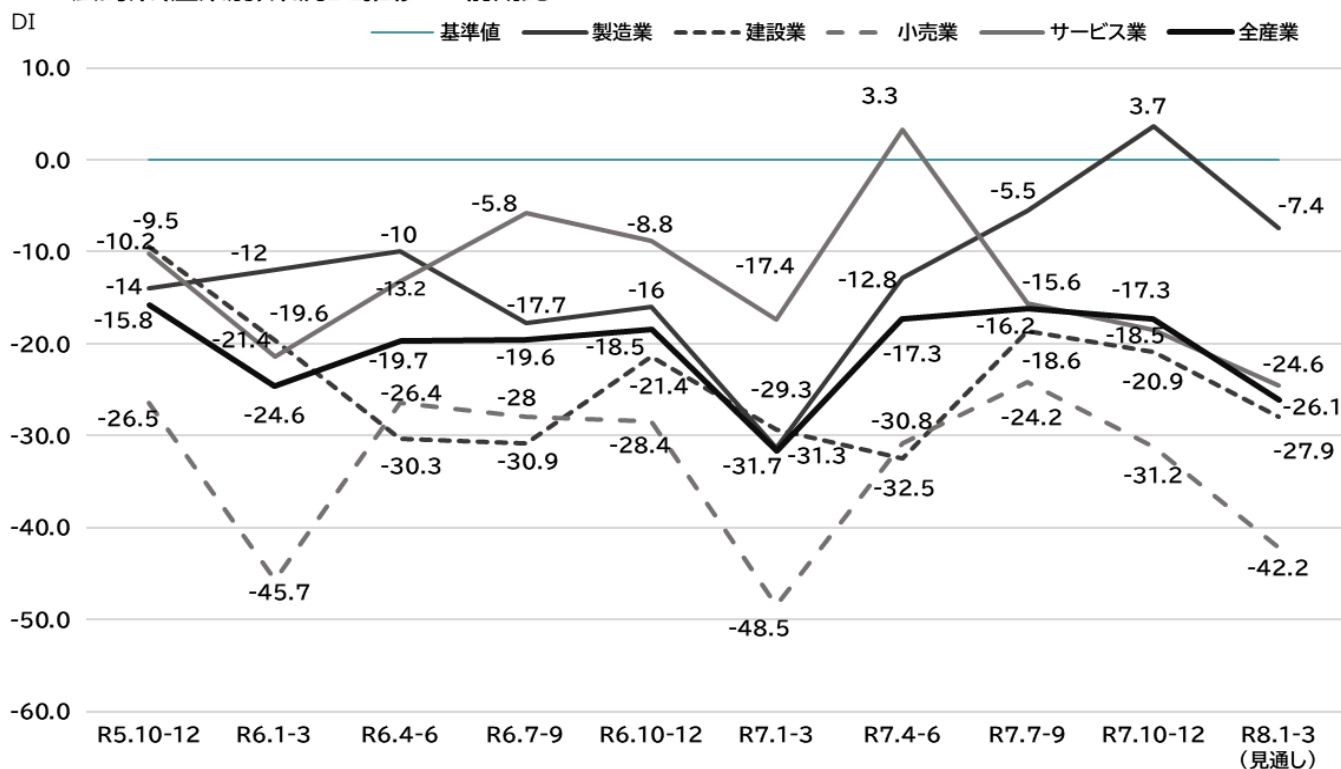
2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 -前期比・季調済-



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

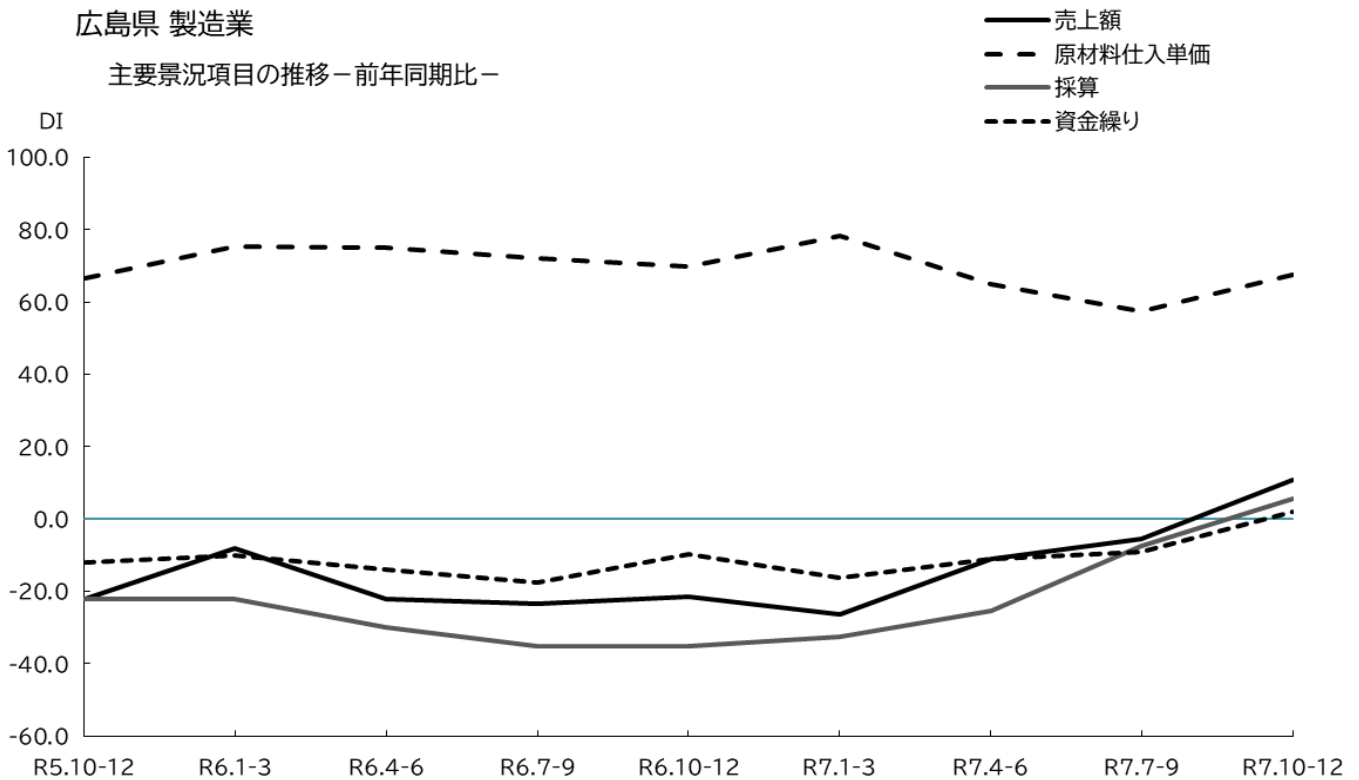
広島県(産業別)業況DI推移 -前期比-



製造業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		前期との比較	(来期見通し)	
	(前期)	(今期)		R8.1-3	今期との比較
売上額	R7.7-9 -5.4	R7.10-12 10.9	↗	R8.1-3 -18.2	↘
原材料仕入単価	57.4	67.4	↗	59.6	↘
採算	-7.3	5.5	↗	-12.8	↘
資金繰り	-9.1	1.9	↗	-10.9	↘



..... 企業のコメント

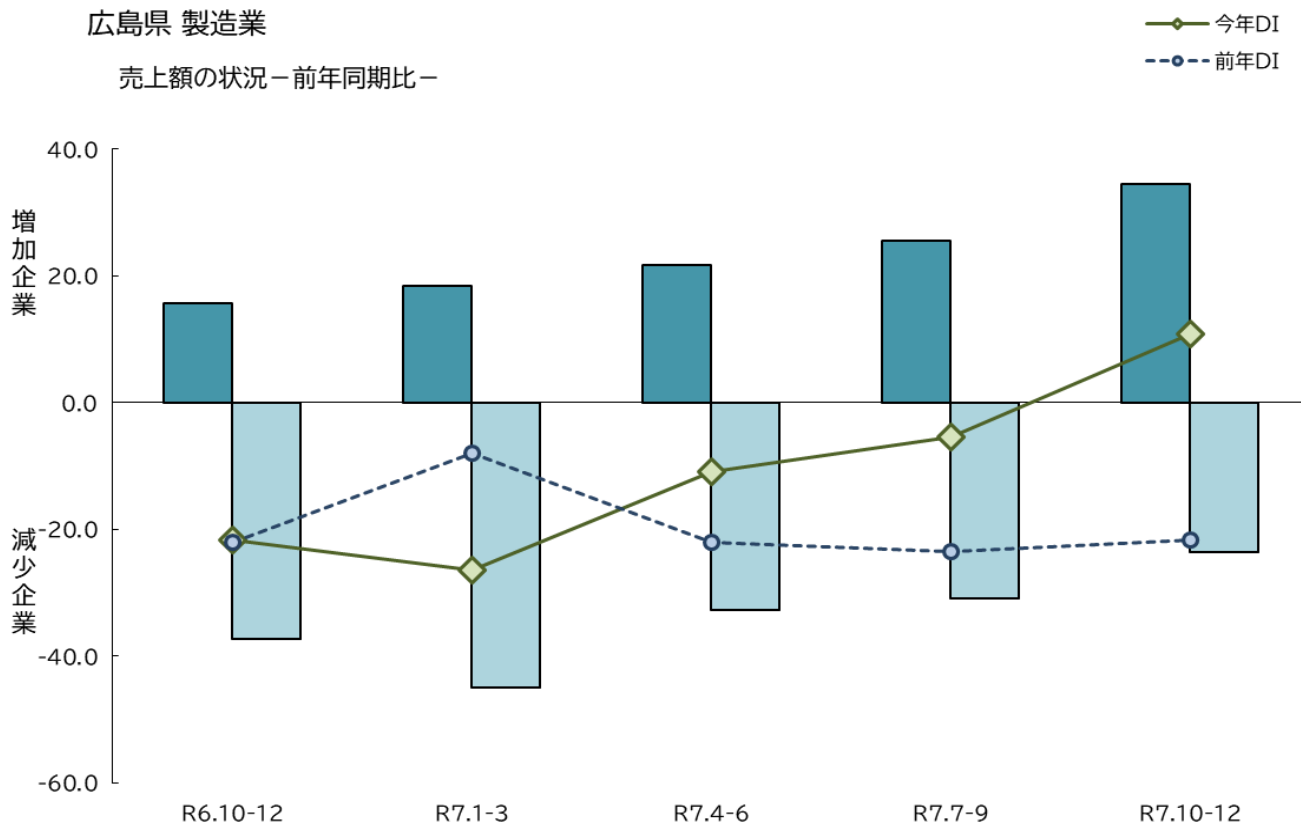
- ・ 前年は自動車関連の不正問題に伴う生産台数の大幅減少により弊社売上額もかなり減少した。今期は前年に比べて好転する見込みではあるが、来期はトランプ関税や自動車生産見通し悪化から厳しい状況が考えられる。
- ・ 今期は引き合いが増え売上也上がってきている。徐々に先の情報もあり期待している。予測として年末年始あたりがピークと思われる。来期に向けこのまま推移することを望んでいる。
- ・ 繁忙期(年末年始用)の菓子箱など早めに注文してもらって分散ができています。12月はもちろん10月、11月も順調で資金繰りも助かっている。11月に機械を1台入替します
- ・ 原材料の単価上昇と人件費の増加により、利益がなかなか出てこない状況が続いている。引き合いは増加しているが、なかなかスムーズに経営が良くなっていかない状況が続いている。
- ・ 原材料価格の上昇(電気代、ガソリン代)社会保険、厚生年金の上昇、人件費の増加などが、売上が上がってもなかなかついていけない。
- ・ 多少ではあるが万博が終了して落ち着いた雰囲気に見える(アサヒグループの影響も)年内中に原材料の値上がりが見込まれている。
- ・ 10月20日より養殖牡蠣の水揚げ解禁されるも約8~9割のへい死で推移している。海水温の上昇が一因と思われる。来年度水揚げ予定の牡蠣も5割程度のへい死が確認されており、全体的な生産量が激減する恐れがある

製造業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

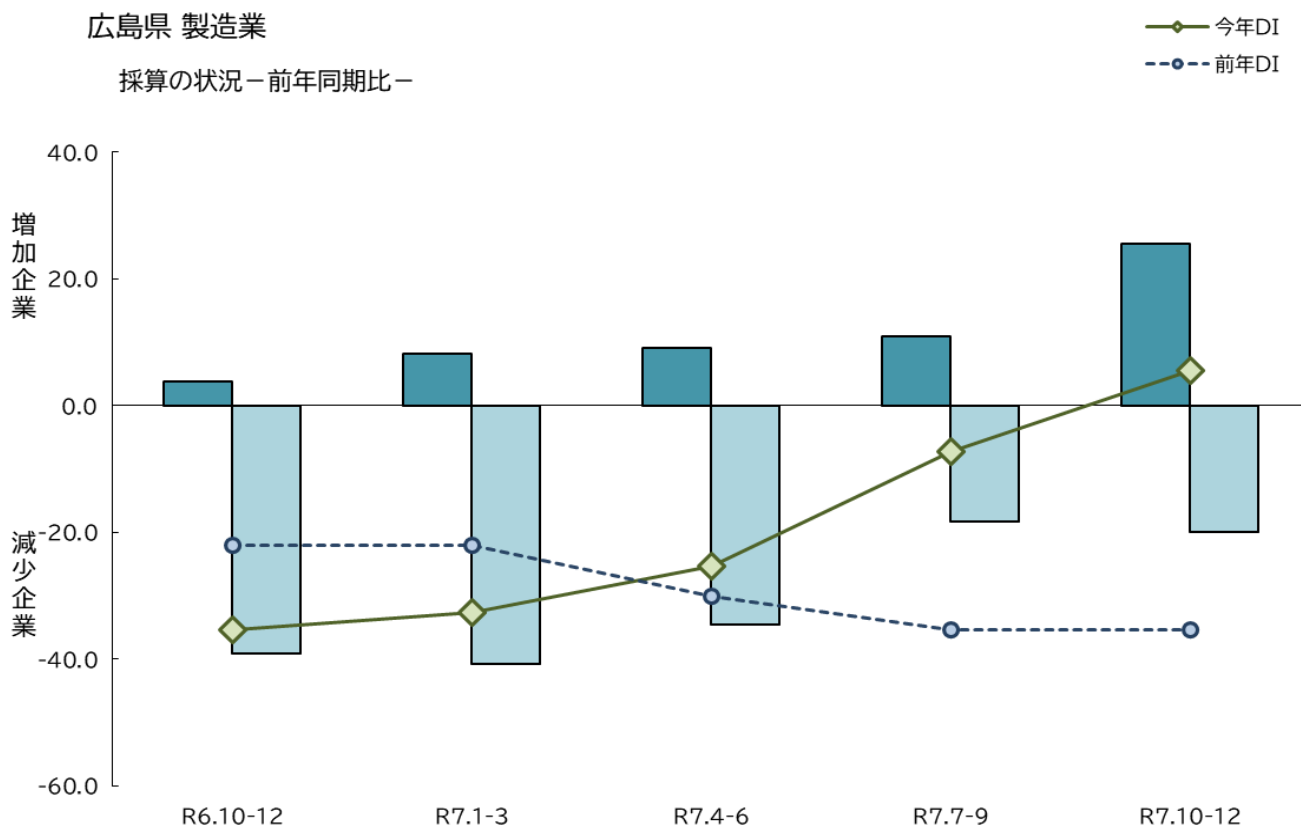
売上額の状況-前年同期比-



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

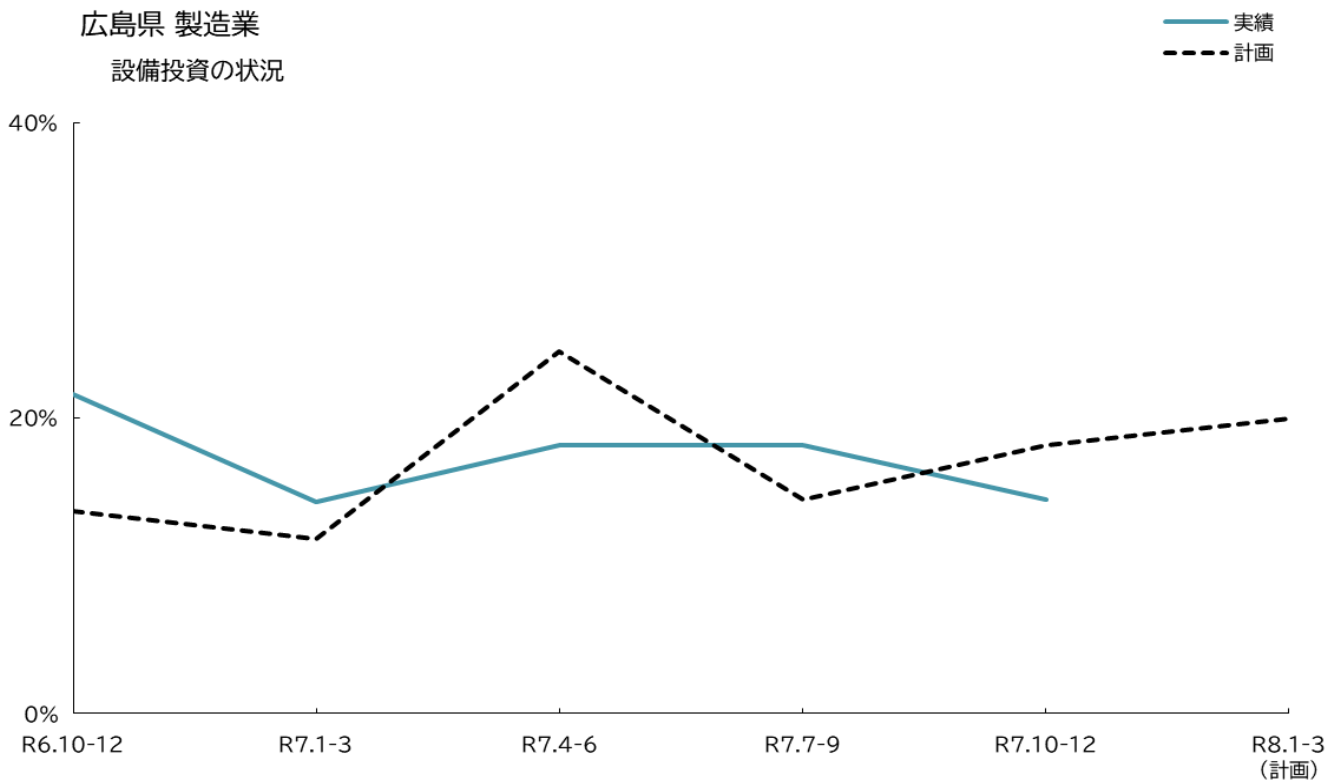
広島県 製造業

採算の状況-前年同期比-

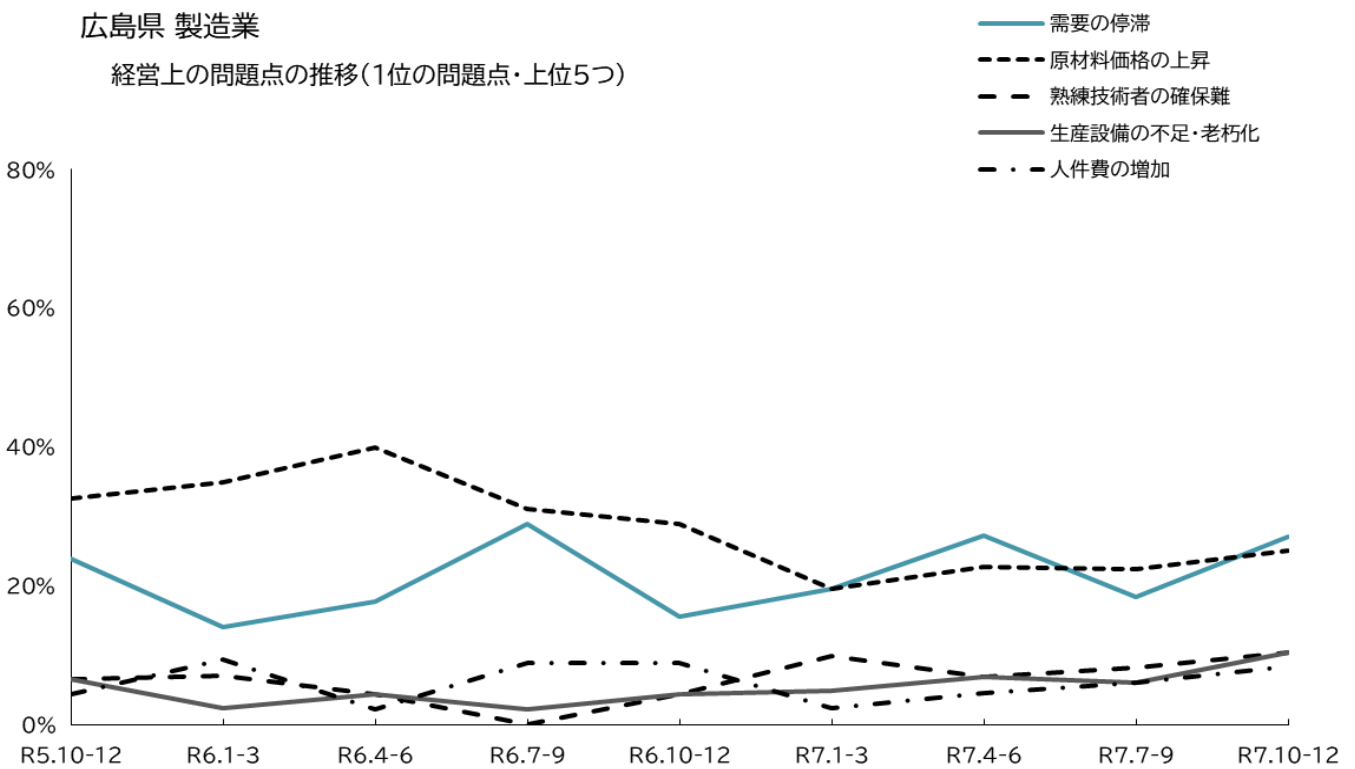


製造業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



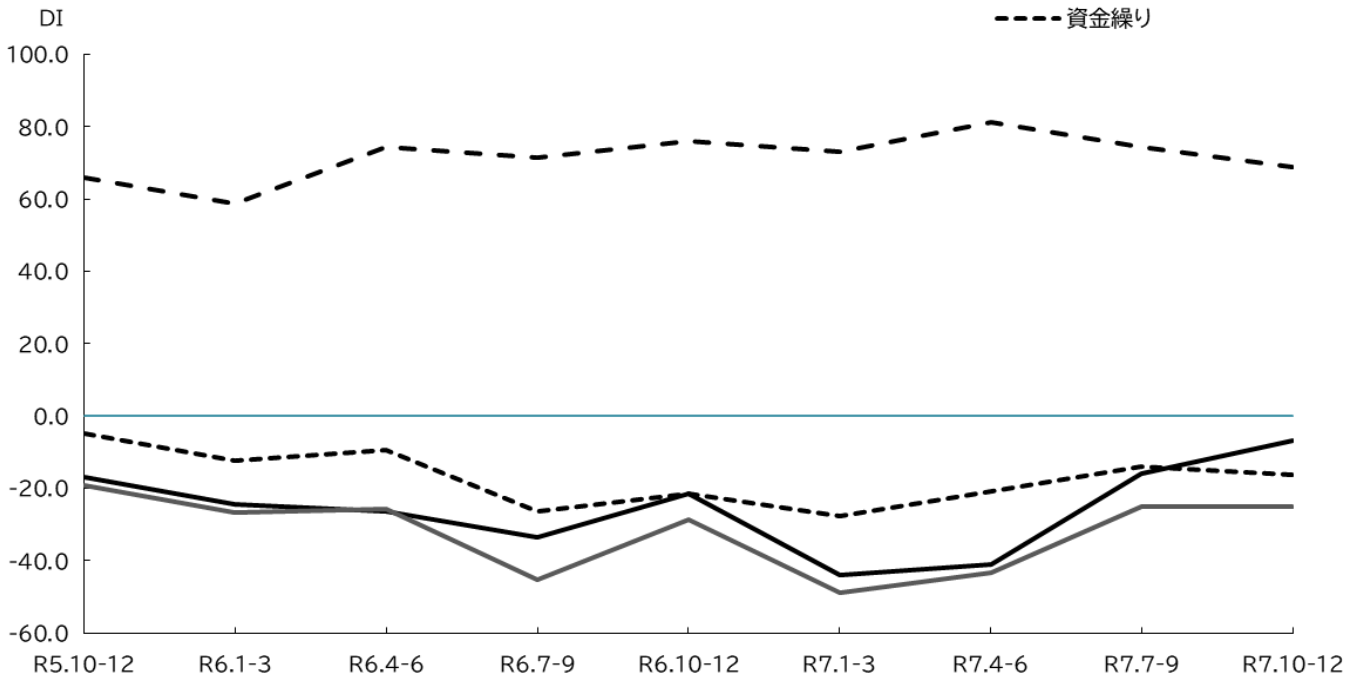
建設業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R7.7-9	R7.10-12	前期との比較	R8.1-3	今期との比較	
売上額 (完成工事額)	-15.9	-6.8	↗	-13.6	↘	
材料仕入単価	74.4	69.0	↘	54.7	↘	
採算	-25.0	-25.0	→	-31.9	↘	
資金繰り	-14.0	-16.3	↘	-23.2	↘	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

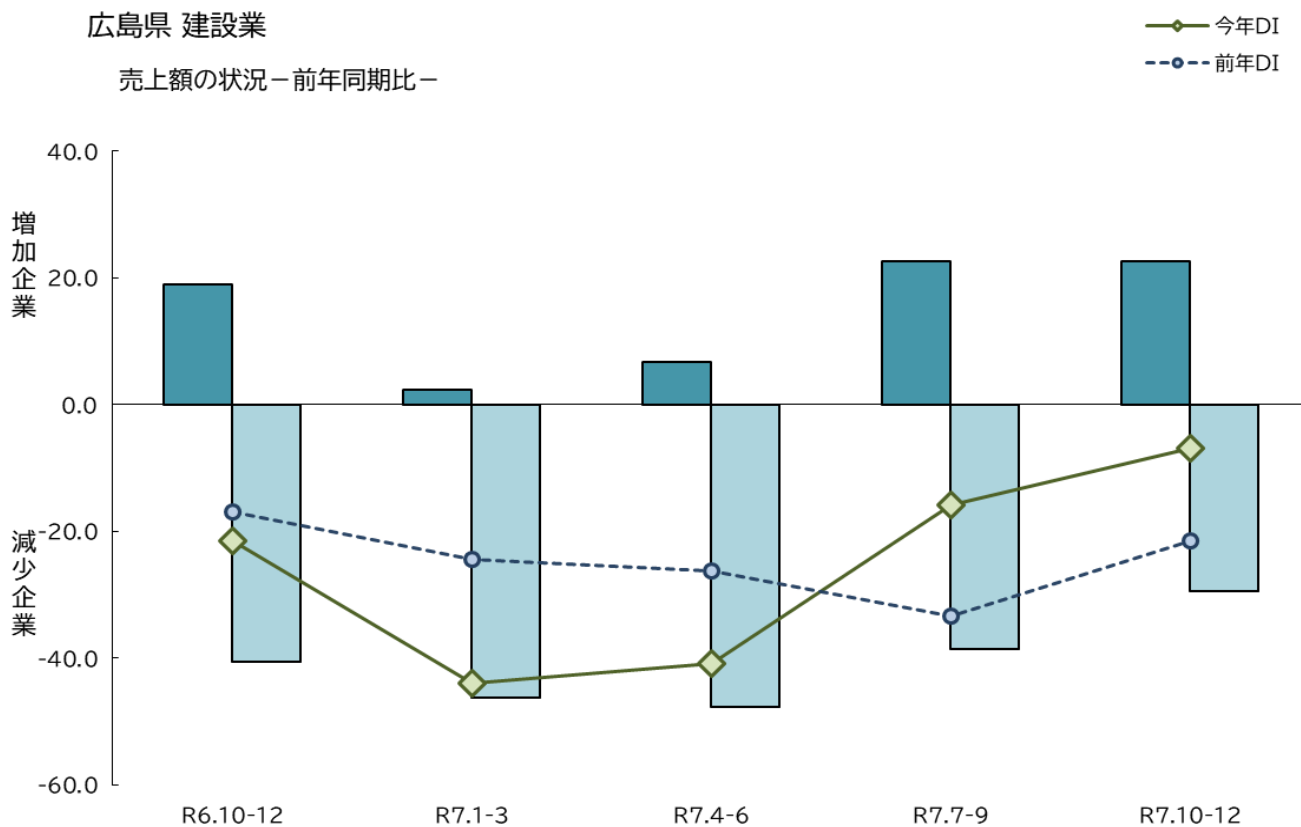
- ・ 価格転嫁が比較的しやすい消費者からの直接受注を意識しているが、民間の需要自体が低調であり、BtoBの受注が中心になっている。その結果、思うように価格転嫁できず、来期は採算が悪化する見込みである。
- ・ 外注費、仕入原価の高騰が続いており、多かれ少なかれ価格に転嫁できている。外構工事をエンドユーザから直に受注しており、BtoB取引よりも価格転嫁がしやすい。
- ・ 事業に関わる材料、外注費等、全てと言ってよいくらい金額が上がっている。価格転嫁の交渉を行っているが、転嫁の可否は取引先によって様々である。
- ・ 零細個人事業所のため、一定の顧客業者様と地域内外の一徹需要で仕事量の確保が出来ていて、通年業況は安定している様に思われます。
- ・ 前回と変わらず仕入価格が安定しており、横ばいになっています。
- ・ 材料費、燃料費など的高騰により資金繰りが厳しい状況が続いている。
- ・ 自宅に対する意識が、低くなっているよう。最低賃金が上昇しているのに、景気は上がっているようには思えない。高市内閣になって、どう動きが変わるのか、楽しみ。期待している。

建設業（商工会地域）

2. 売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

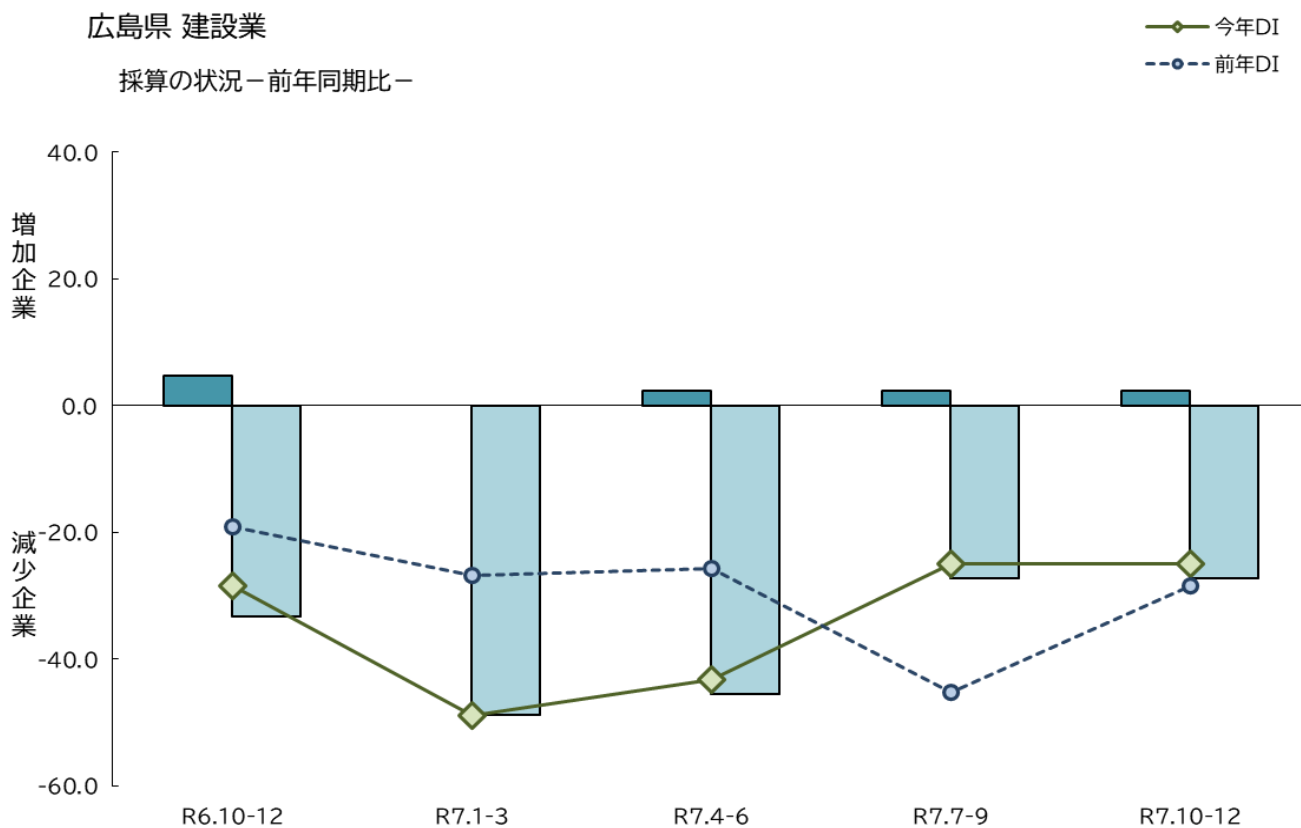
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

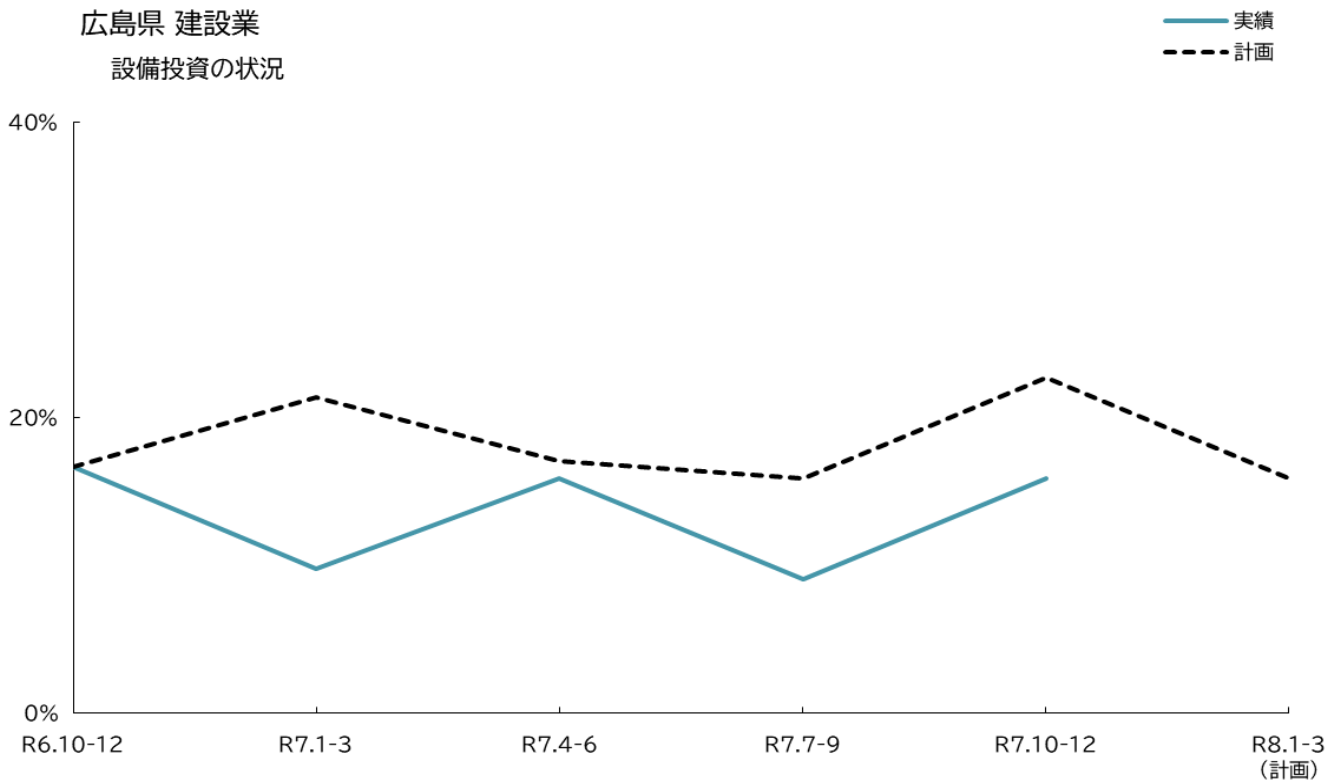
広島県 建設業

採算の状況－前年同期比－

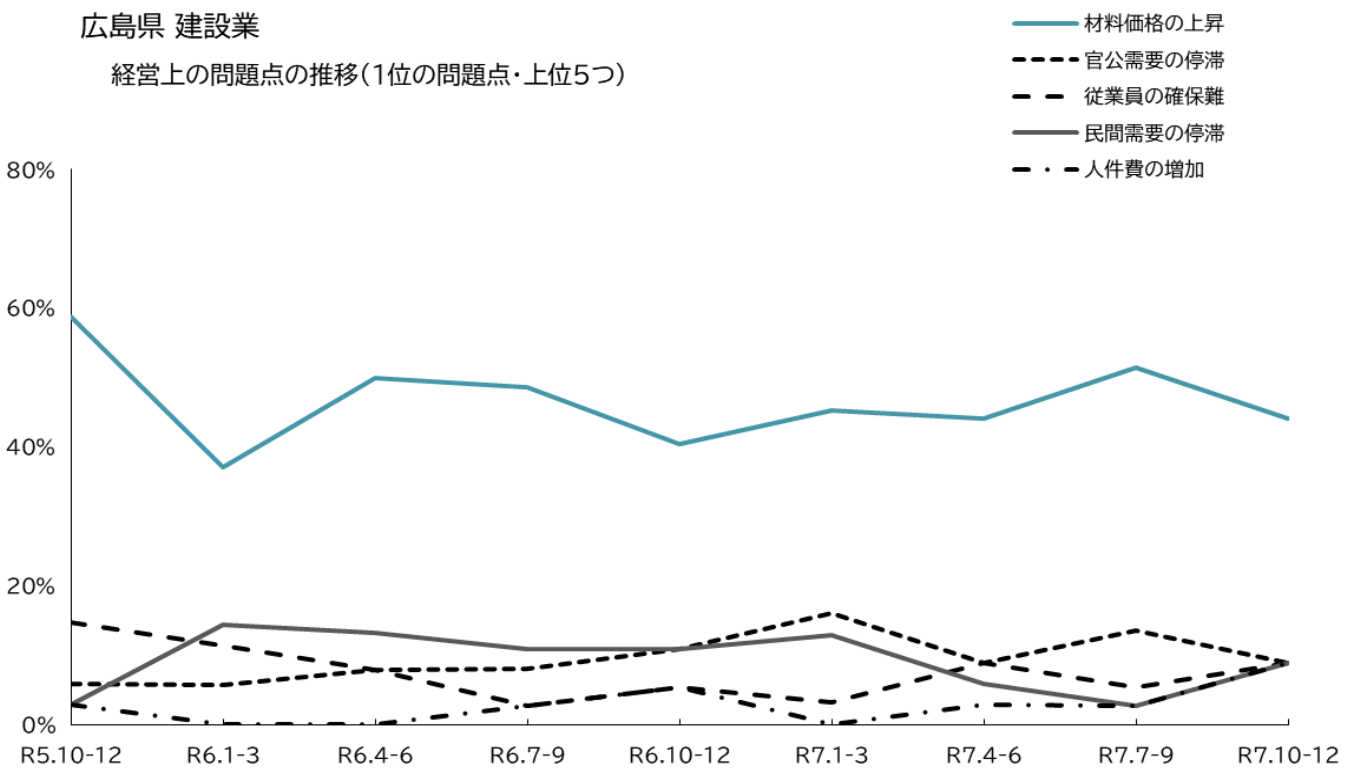


建設業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



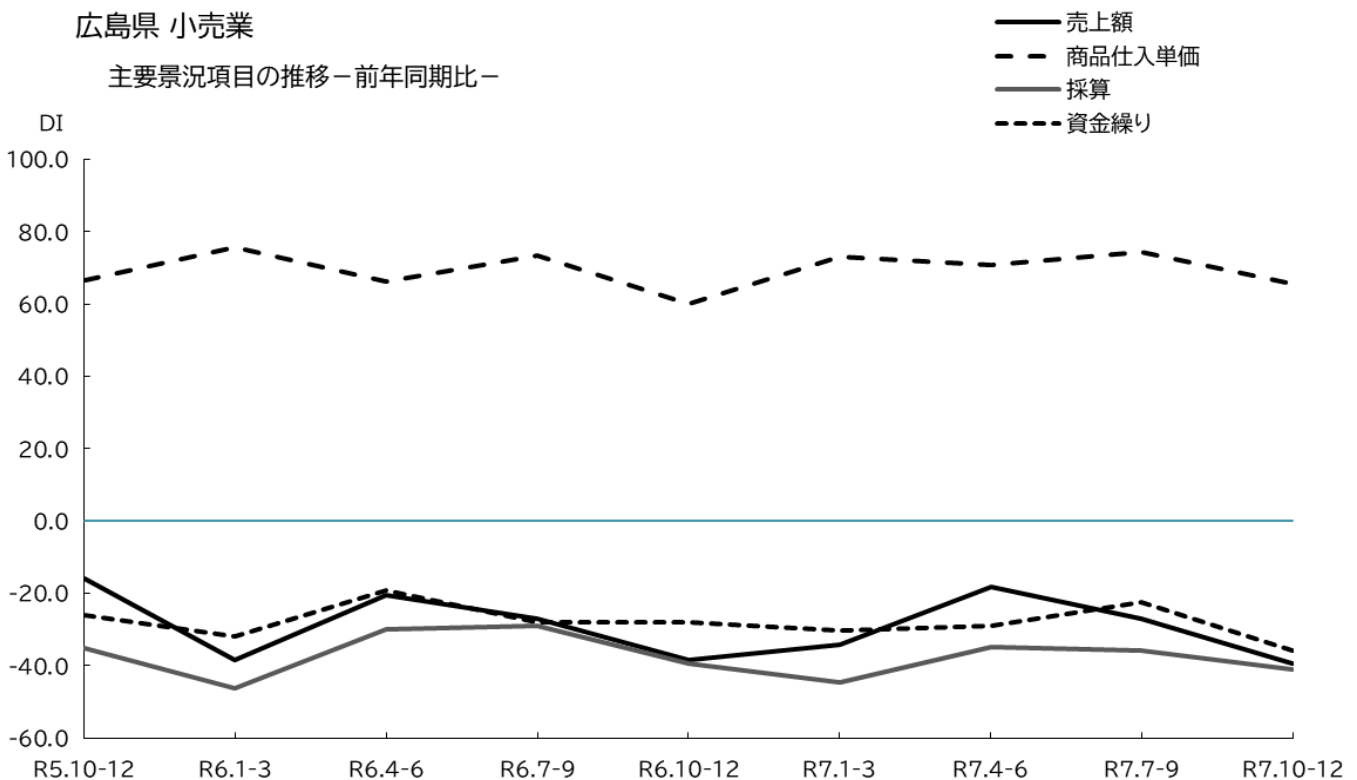
5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



小売業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R7.7-9	R7.10-12	前期との比較	R8.1-3	今期との比較	
売上額	-26.9	-39.4	↓	-40.3	→	
商品仕入単価	74.3	65.6	↓	44.8	↓	
採算	-35.9	-41.0	↓	-44.8	↓	
資金繰り	-22.4	-35.8	↓	-33.4	↑	



..... 企業のコメント

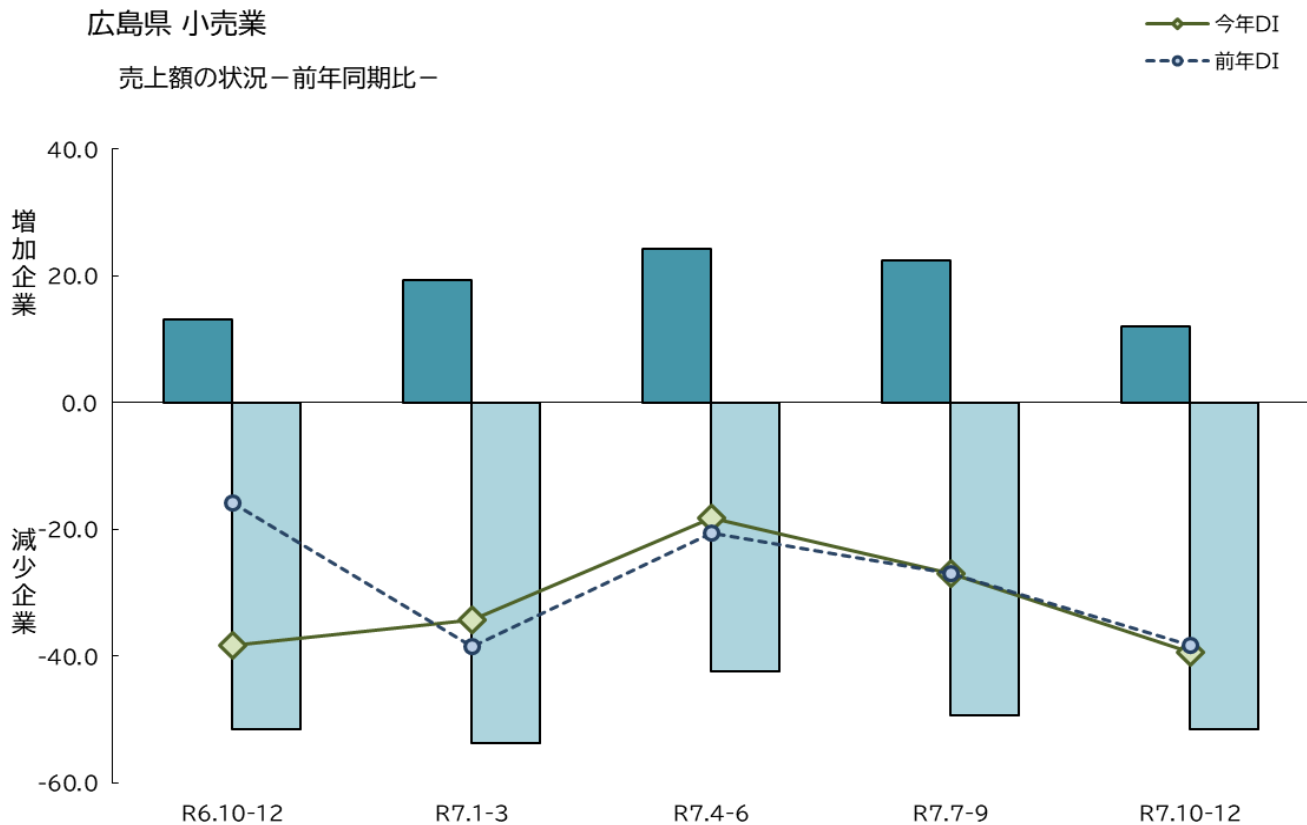
- ・物価高騰で更にお客様が買い控えられ、安いところまでまとめ買い等々そこに自店がどれだけ努力したところで何も変わらずネットで買い、少しでも安く楽に生活しようとする方も。来店される方々を大切にしていきたい
- ・慢性的な物価高の影響なのか、消費が、停滞している。少しでも安く買物をするため、スーパーとか大型店へ需要が、流出している。小規模店は、ある程度商品を特化して差別化をしていかなければ、続かないと思う。
- ・度々の仕入価格の上昇に、その都度販売価格を転嫁しにくく、利益の減少に繋がっているようです。
- ・食材の値上がりで衣料品全般に使えるお金が非常に少なくなっている。お客様の高齢化により衣料品の購買力が少なくなってダブルで物が売れなくなっている。
- ・ファッションが好きの人に、少しでも質が良い物、ブランド名が通ったもの、流行に乗ったものを提供しようと考えていますが、実質賃金の低下で、欲しい物が買えないもどかしさがある。好転する兆候が見えてこない。
- ・お客様が、お亡くなりになったり、施設へ入所されたりして配達がなくなった。新規客がなかなか集まらない。いろいろなSNSの運用がもしかしたら間違っているのかもしれない。
- ・需要の停滞が長く続いている。今後、年末に向けて良い方向に進んで欲しいと願うばかり。現状、自社だけでは良い方向に持っていくのは困難な状況。我慢の状況です。

小売業（商工会地域）

2. 売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

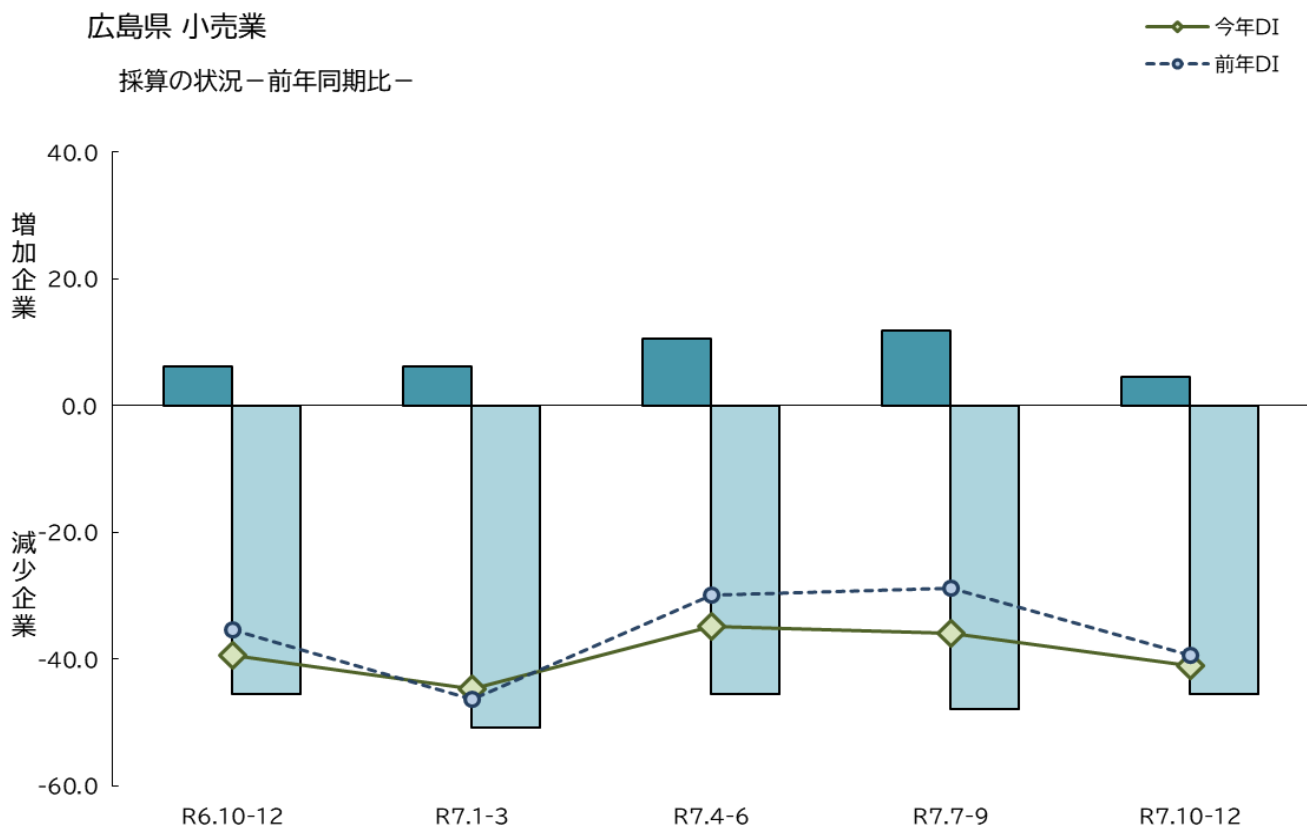
売上額の状況－前年同期比－



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

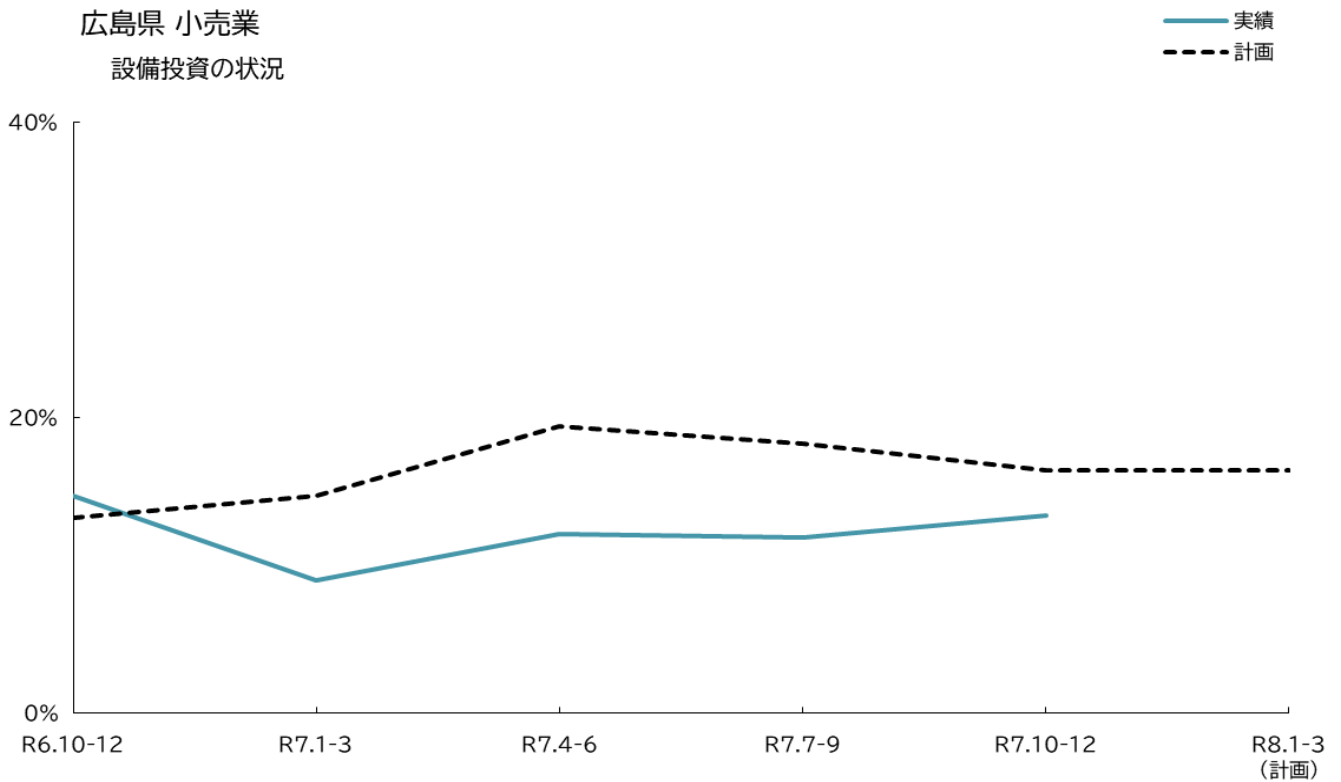
広島県 小売業

採算の状況－前年同期比－

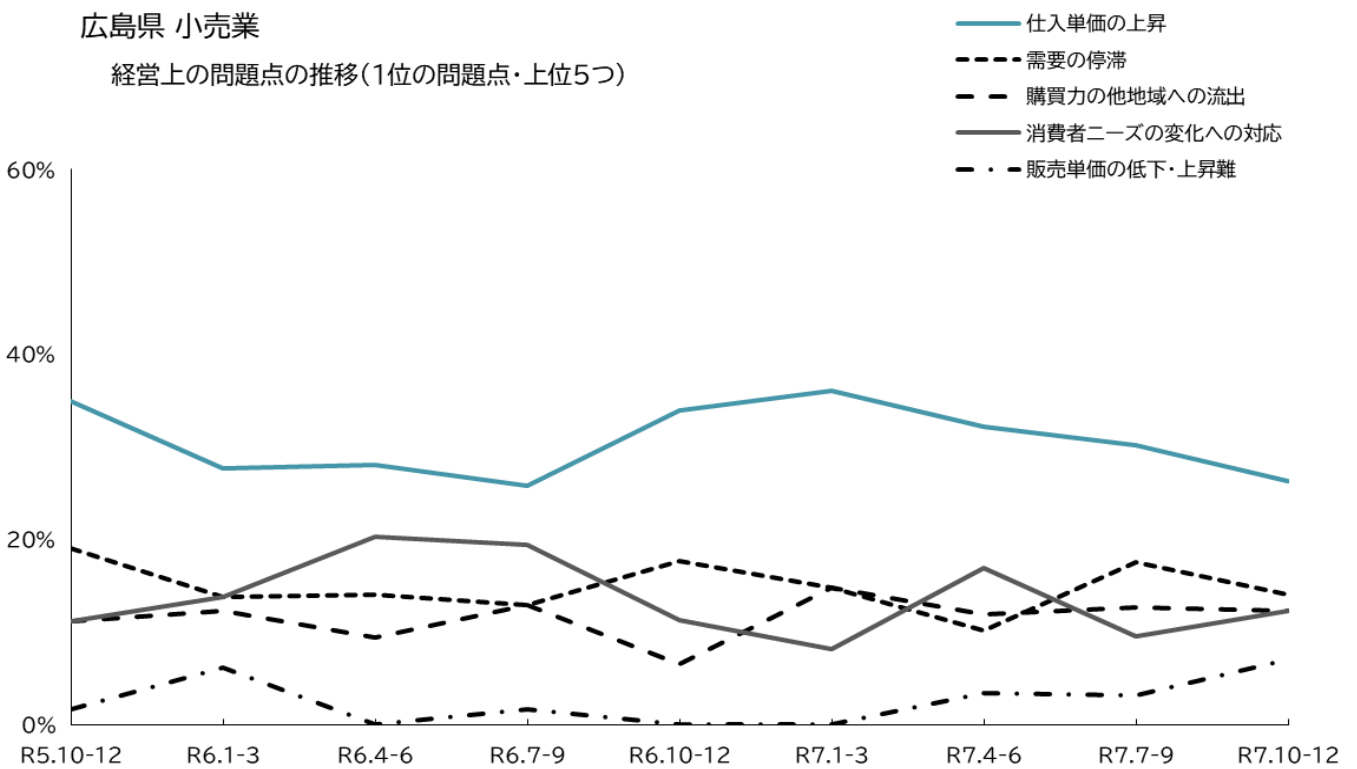


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況



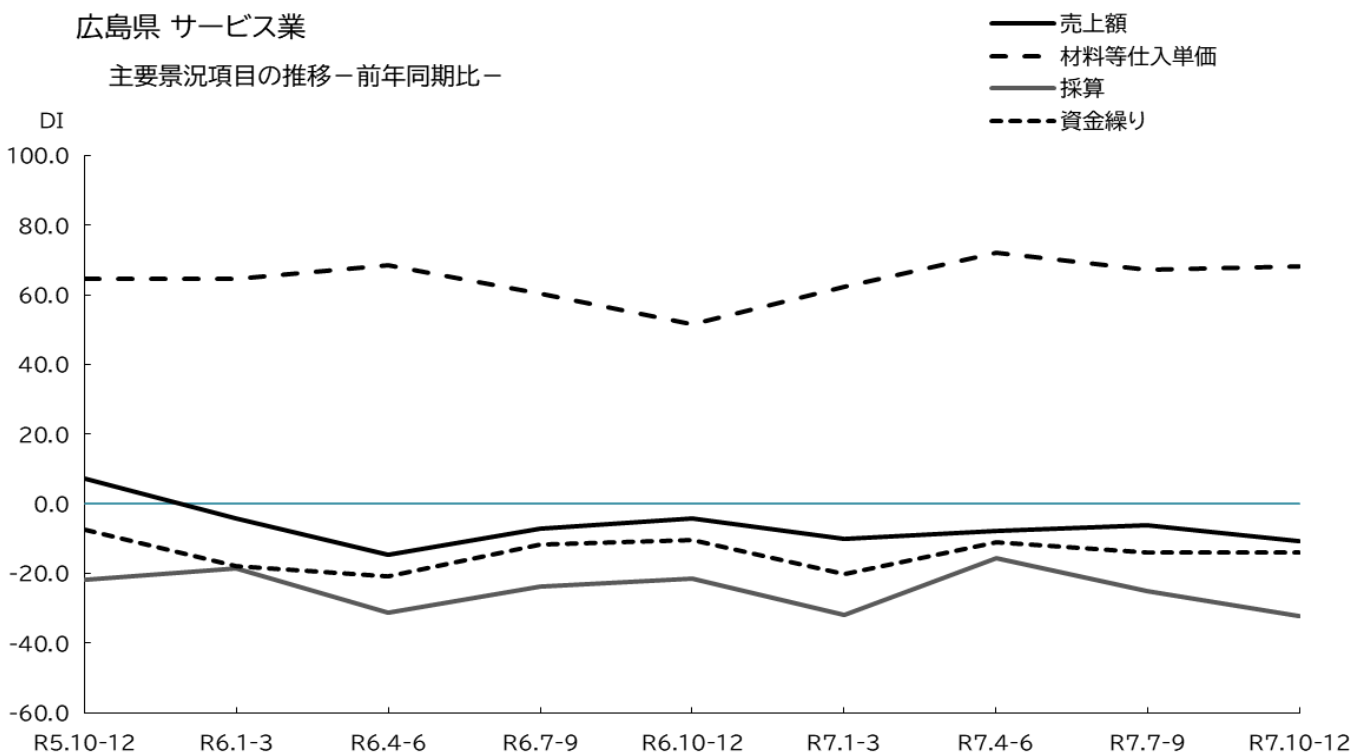
5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

1. 主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R7.7-9	R7.10-12	前期との比較	R8.1-3	今期との比較
売上額	-6.1	-10.7	↘	-12.3	→	
材料等仕入単価	67.2	68.2	→	55.5	↘	
採算	-25.0	-32.3	↘	-29.2	↗	
資金繰り	-13.9	-14.0	→	-14.1	→	



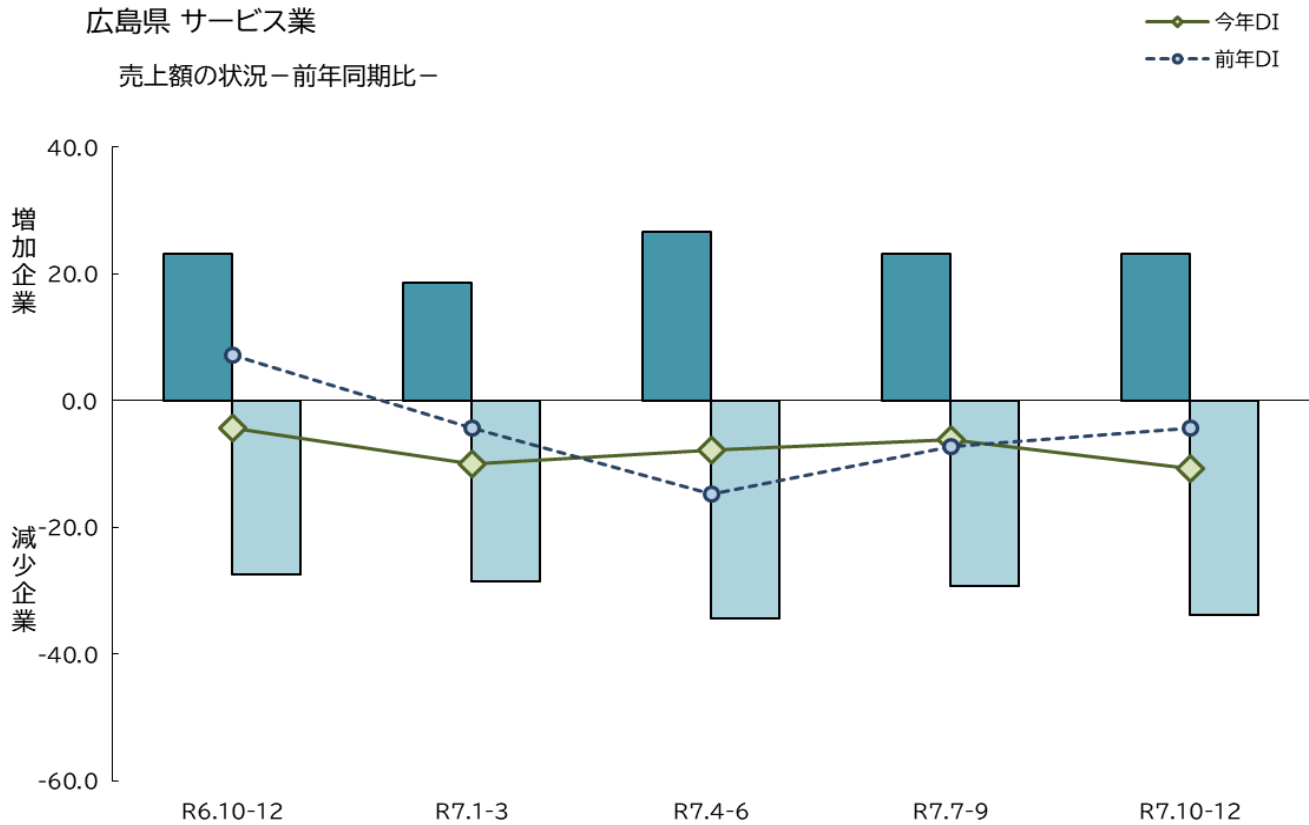
- 企業のコメント
- ・ 物価上昇のためお客様の来店周期がのびている。仕入れ価格も上昇しているため、売り上げなど減少している。弊社での経費削減も限界にきている。そのためニーズ変化の対応も困難になっている。
 - ・ 肉や米の値段が上がって、お客さんの数も減っている。
 - ・ 売上は前年と単純比較すると微増の状況で、価格改定によるアップ率を加味したら前年をクリアできていない。ただ利益面では改善されてきた。
 - ・ ベテラン乗組員の引き抜き合いが起こっている。給料の高低ではなく、船員の絶対数が不足しているため、若者を育てる以外方法がなく、未経験者に高い給料を支払っている状況で、短期間での改善の見込みは薄い。
 - ・ 施設老朽化が顕著であり、修繕費用も高騰していることから安易に着工できない。景況感に左右されない顧客の獲得を模索中。
 - ・ 人口が減少しつつある中で、需要の範囲が狭められているが、売上増加を目指して、手応えのある商品を模索中。
 - ・ 地元固定客に変動がない状況。

サービス業（商工会地域）

2. 売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

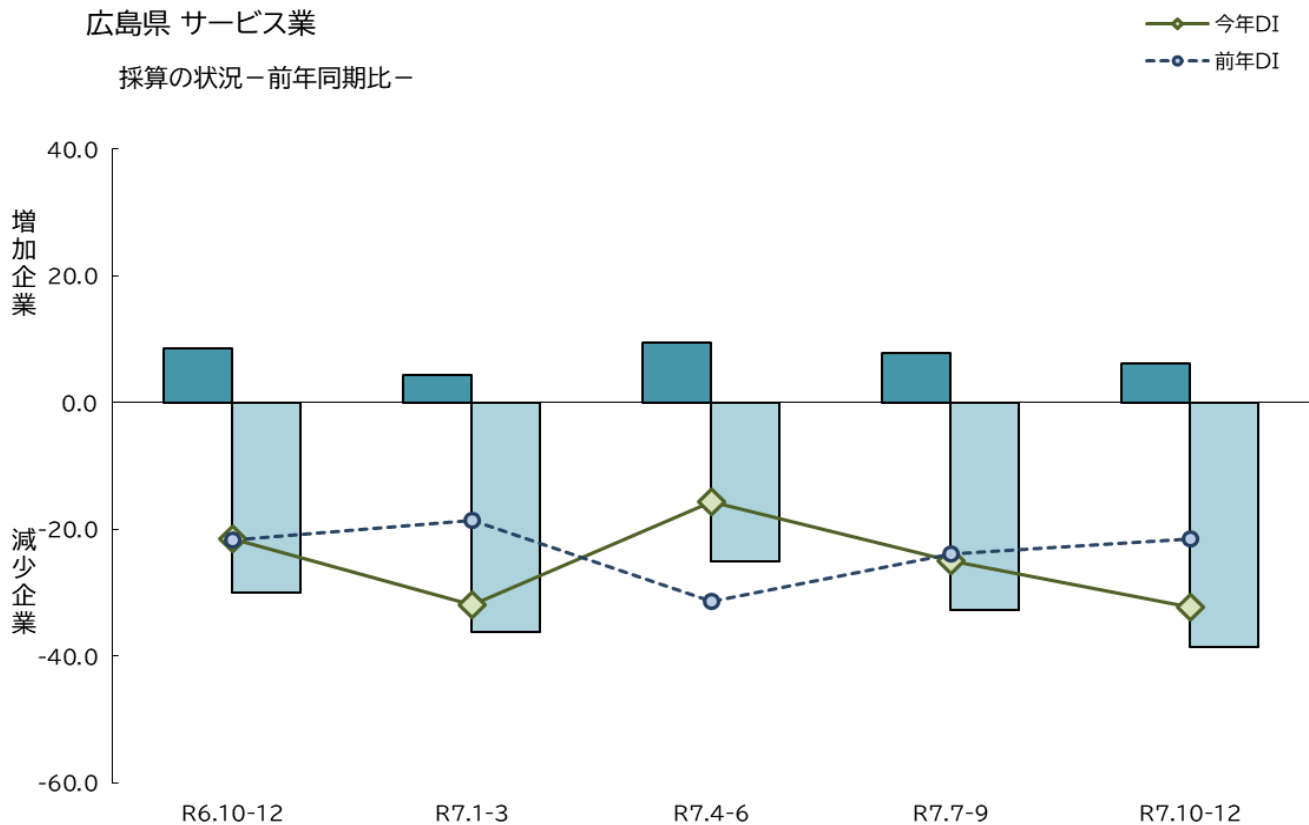
売上額の状況-前年同期比-



3. 採算(経常利益) -前年同期比-

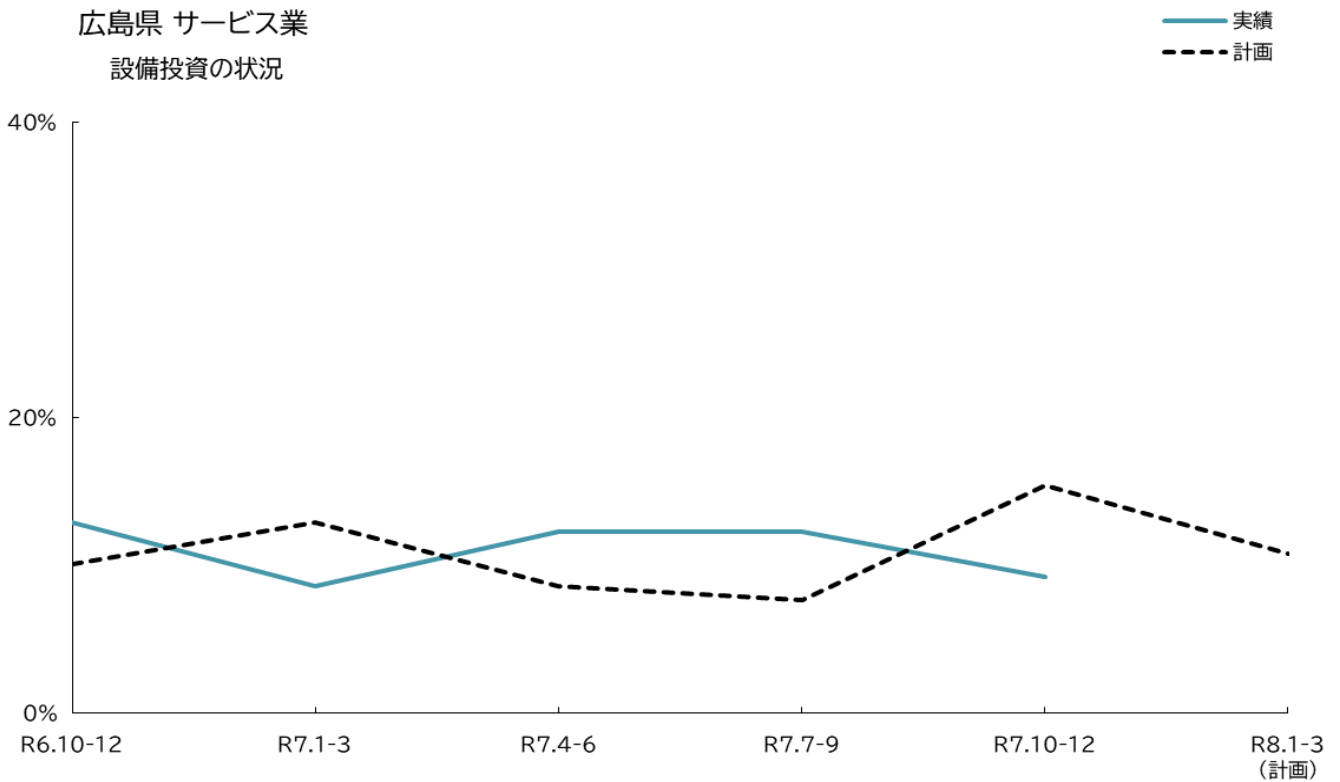
広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



サービス業（商工会地域）

4. 設備投資の状況



5. 経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

